

ふくろいスマイル座談会 ⑦浅羽西地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 浅羽西地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年9月29日(日)13時30分～15時15分
場所	浅羽西コミュニティセンター【参加人数:38人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

子どもがすこやかに育つまち

- 幼稚園児数が減少し不安、少人数のメリットもあるが、多くの出会いも大切な時期。どのような対策をとっていくのか教えてほしい。
⇒現在、幼稚園のあり方について検討している。全国的には、保育園・こども園化が進んでいる。子どもたちにとって何が大事なのかを考えることが最も重要。しっかり議論させていただきたい。

健康長寿で暮らしを楽しむまち

- 高齢者対策は十分だと言えない。これまでとは違う高齢者対策を次期計画には入れてほしい。
⇒地域の方々を地域で支える生活支援ネットワークは理想的なかたち。他の地区でも実施したり、導入を検討している地区もある。市は可能な限り必要なサポートを行っていく。

安全・安心に暮らせるまち

- 今後の複合災害に対してどのように整備していくのか（特に洪水と大規模災害への対策）を聞きたい。
⇒大規模災害に対して、行政ができるインフラ整備対応は限界との指摘もある。絶対に安心できる設備としての整備は現実的に難しい。そのような中では、まずは“自助”各自が自分の命を守ることが大切。勿論、行政の責任は果たしていくが、皆さんにも災害に対する備えをしていただきたい。
- 多文化共生社会が進む一方、迷惑行為（ごみ処理や無断駐車、騒音等）も発生している。市や県、警察署にも要望書を出している。自治会で対応できるレベルを超えているので、市から警察等への対応をお願いしてもらいたい。
⇒自治会の皆さんには、大変なご苦労をかけていることが分かった。市としても、警察など関係機関にはきちんと伝え対応する。

「ご意見・ご提案」用紙から

- 袋井市デジタル推進計画について
広報5月号の記事のみでは、計画の推進体制、完成後の運用体制、ITスキルをもった人材の活用、職員のセキュリティに対する意識レベルや経費等も含め全体像が見えない。
- 人口減は日本の人口問題
市全体では人口増とのことだが、地域の若者は確実に減少している。市のレベルで出来ることをやって欲しい。
- 座談会は期待外れであった

市民がいきいきと活躍するまち

- 二瀬橋付近の除草をボランティアで行っている。自分の地域は自分たちで美しくしていきたいが、高齢化も進み、作業が少しでも安全にできるようラジコン草刈り機を、今後も継続して貸してほしい。ラジコン草刈り機の追加や、土日の活用も検討していただきたい。
⇒地域の方に地域を支えていただき市としても大変感謝している。草刈り機の週末利用については、検討し担当課からお返事させていただく。